推薦応募は「なにがなんでもその会社が第一志望なので入社したい。」という学生について、「この学生は貴社が第一志望でほかの会社にはいきませんと確約しており、優秀な学生なのでよろしくお願いします」という保証を学校が学長名で会社に対し約束し、便宜を図ってもらう手段です。その会社が第一志望であり、どのような事態があっても最後まで選考に取り組む、という覚悟がない場合は応募しないでください。これは自由応募で内定前後に推薦状を出す場合も同様で、その時点から辞退できませんので、100%入社することを確認してください。

職業選択の自由は憲法でも保障されていますが、上記の通り推薦応募は第一志望の企業での選考を少しでも有利にすすめてもらうための「便宜」を図るものです。<u>便宜を図ってもらう以上、ルールを守って</u>ください(学校に頼る以上ルールに従うこと)。

あなたが推薦応募したことで、ほかの学生が選考に乗ることができなかったという意味で、その学生の 将来を変えてしまった責任があり、その責任の取り方は、その会社に就職してその学生の分まで一生懸 命働くことでしか果たせません。

辞退した場合、その大学の発行する推薦状には意味がないと考えられ、翌年以降学科や、大学への推薦枠の割り当てが減らされることが十分考えられます(実際過去のトラブルが原因で、ある世界的な大企業から、特定の学科だけ求人が来ていないケースがありました)。その場合、あなただけではなく、多くの後輩がその企業への就職ができなくなることになります。このようなことになった場合、あなたはどのように責任をとれるでしょうか?

以下のようなケースも、注意が必要です。これらの例に当てはまるような可能性があるなら、あなたは 推薦を利用すべきではありません。一つ一つよく読んで、確認してください。

- (1)リクルーター推薦のプロセスに乗ったが、推薦状の発行はまだだから辞退しようと思う。 ウェブ上で推薦応募したものの、推薦状の発行はまだだから辞退しようと思う。 推薦状発行依頼を提出していないから辞退しようと思う。
- →推薦求人のプロセスに<u>参加した時点から推薦</u>の扱いになります。応募する際は「この企業の選考に最 後まで取り組む」ことを 100%実施することに確証がない場合は、応募しないでください。
- →リクルーター推薦については、会社ごとにプロセスや決まりが異なりますので、かならずリクルーターに「どの時点から推薦扱いで辞退できなくなるか」を確認してください。

- (2)家庭の事情で遠隔地への就職は無理だということになったため辞退しようと思う。
- →どのような事態でも推薦応募のプロセスに乗った場合は最後まで選考に取り組んでください。推薦応募の前に、その会社に行くつもりであることを予めご家族の方とお話しして合意してください。
- (3)推薦応募したのち、OBや社員の方と話をして自分の考えていた仕事ができないとわかったため。ほかにやりたいことが出てきたため辞退しようと思う。
- →どのような事態でも<u>推薦応募のプロセスに乗った場合は最後まで選考に取り組んで</u>ください。事前に 十分に企業研究をし、OBや社員の方と話をしてその会社が第一志望であると確信しない限り推薦応 募はしないでください。あとで分かったということは、残念ながら研究不足であり応募者の落ち度です のでそのまま選考を続けてください。
- (4)推薦応募をしたものの、選考が長く結果が7月まででず、他社の内定が出たため。周囲が続々と決定していくのに決められないため。選考が長く結果が出るのが先でリスクがあるため辞退しようと思う。
- →推薦応募をした場合、第一志望であることが前提のため、選考プロセスのスピードが遅い場合が多くあります。友達がどんどん内定をもらう中でも、我慢してその選考を進めていかなければなりません。そのようなリスクを含んだ覚悟をして推薦に応募してください。
- (5)推薦応募をしたところ、人事の人の態度が変わってかなり高圧的になってきており、将来が不安なため辞退しようと思う。
- →残念ながら、そのような場合でも選考を続けてもらわなければなりません。その担当者だけが原因かもしれませんし、もともと会社全体の社風がそうだったのを理解していなかったのかもしれません。企業研究ではかならず社員の方から話を伺うなど、会社の雰囲気をあらかじめ理解してください。そのようなリスクもあるという前提で選考を辞退できないことを覚悟して応募してください。そのようなリスクを回避して途中で辞退するオプションを残しておきたい場合は、自由応募で進めてください。
- (6)推薦応募をしたところ、その会社が明らかに法律違反をするなど、問題行動をしている場合
- →自分で辞退の判断をする前に、必ず就職担当教員やキャリアサポート課に相談ください。

推薦は「学校」と「会社」の間の取り決めです。推薦応募の進め方について疑問が出てきた場合、自分で 判断せず、かならず就職担当教員かキャリアサポート課に相談してください。

以上